

## 2007年のヒマラヤ登山

尾形好雄（雪と岩の会会員）

## ヒマラヤ登山の動向

このところ毎年、8,000m峰初登頂のゴールデン・ジュビリー（50周年）を迎えている。07年はブロード・ピークが初登頂50周年記念の節目となり、多くの登山隊を迎えた。パキスタン政府は07年も登山料を半額にしたこともあって、ブロード・ピークには25隊261人が挑んで、19隊77人（パキスタン人6名を含む）が登頂。ルートは全て西稜ノーマルルートから。因みに07年のパキスタンへの登山隊は83隊（799人）が102座に挑み、そのうち22座に201人（パキスタン人13名を含む）が登頂した。8,000m峰への登山隊は、70隊で、その3分の1以上の登山隊がブロード・ピークに集中した。他の8,000m峰登山隊はK2に16隊（8隊29人が登頂）、ガッシャーブルムⅠ峰10隊（6隊27人が登頂）、ガッシャーブルムⅡ峰14隊（1隊4人のみ登頂）、ナンガ・パルバット5隊（5隊17人登頂）となっている。その他ではスパンティークに11隊（72人）が挑み10隊（44人）が登頂している。

ネパールではトレッキング許可ピークの入山状況が発表され、2006年7月16日～2007年7月15日の1年間の入山者は924隊（4398人）。内訳は旧18座が808隊（4149人）、新15座が56隊（249人）となっている。人気No.1はアイランド・ピークの402隊（2011人）。次いでメラ・ピーク170隊（887人）、ロブジェ・ピーク62隊（289人）と続く。

2極分化の傾向がますます顕著になるヒマラヤ

登山であるが、07年もこの傾向ははっきりと現れた。相変わらず世界最高峰の人気は高く、その上、08年北京五輪聖火リレーのテストランを目指す中国政府が大部隊を送り込んだ為に、チョモランマ北面は空前の混雑を見せ、春季の登頂者だけでも600人（中国側368人、ネパール側258人）を超えた。

ジャイアンツでは未踏のK2西壁がロシア隊（ヴィクトル・コズロフ隊長ら16人）によって完登された。無酸素で2ヶ月半に亙る苦闘の末の初登攀であった。また、イタリアのカール・ウンターキルヒナーとダニエル・ベルナスコーニは、ガッシャーブルムⅡ峰に中国側から挑み、7月20日に登頂後、下降路はパキスタン側通常ルートに取って、別のイタリア隊のBCに着く縦走を果たした。

一方、チャラクサ氷河のK7西峰（6,858m）では、スロベニアのスーパー・クライマー、マルコ・プレゼリと米国のスティーブ・ハウス、ヴィンス・アンダーソンのトリオが南壁を直上するラインを採って3日間のアルパイン・スタイルで初登頂。

ロシアのワレリー・ババノフとセルゲイ・コファノフのペアはクンバカルナ（ジャヌー、7,710m）北西バットレスをアルパイン・スタイルで初登攀。

「チベットのマッターホルン」とも呼ばれているモナムチョ（6,264m）がミック・ファーラーとポール・ラムズデンの英国ペアによって北西稜

から7日間のアルパイン・スタイルで初登頂されるなど6,000～7,000m峰でのテクニカルなアルパイン・クライムも展開された。

#### 日本人の記録

2007年の日本のヒマラヤ登山隊は別表の通りである。日本隊の動向はこの数年変わらず、相変わらず世界最高峰の人気は高い。07年もチョモランマには7隊が挑み、13名が登頂。5月22日に登頂した柳沢勝輔さんが71歳と63日でチョモランマの最高齢登頂記録を更新。その他、チャー・オユー3隊、シシャパンマ2隊、ガッシャーブルムⅡ峰2隊、マナスル1隊、ダウラギリⅠ峰1隊と8,000m峰に16隊が挑んだ。

日本隊の主な登山としては、6,000m峰の初登頂が相次いだ。チベットではクビ・ツァンポ源流域のクビ・カンリ(6,721m)に関西の学生を中心とした学術登山隊が初登頂した。この山は、ネパール側のドザム・コーラの奥に聳えるチャンラ(ネパール名)である。

山形県山岳連盟隊は、2001年に敗退したチベットのヤラ・シャンポ(6,635m)に再挑戦して10月16日に初登頂に成功。雪辱を果たした。また、創立百周年記念山行として岐阜の飛騨山岳会がクーラ・カンリに隣接するモンタ・カンリ(6,425m)に初登頂した。

ネパールでは牧野龍峰隊長の率いる神奈川県山岳連盟隊がモンスーン季にダモダール・ヒマラヤに入りチャコ(6,704m)に初登頂を果たした。

インドでは西嶋錬太郎隊長ら7名のJAC石川支部隊がラダック・パンゴン山脈のマリ峰(6,587m)を目指したが、現地での許可証取得の手間取りなど日数不足によりマーン峰(6,342m)に転進して8月14、15日の両日で全員初登頂に成功。

パキスタンでは福岡山の会隊(岡崎猷之隊長ら4人)がシュイジュラブ山群の無名峰(6,150m)を目指し、8月5日に南西面から北面に回り初登頂した。

一方、今井孝(チーム'84)、鈴木啓紀(G登攀クラブ)のペアは、ハイナブラック(5,651m)のイーストタワーに挑み、下部岩壁はアメリカン・ルート、上部ヘッドウォールはスロヴァキア・ルートをアルパイン・スタイルで攀り、頂上稜線に到達した。

#### 遭難

残念ながら07年もヒマラヤでの遭難事故は回避できなかった。春のチョモランマで商業公募隊に参加して5月15日に登頂した石井伸一(63歳)氏は登頂後、30分ほど下った三角雪田で突然死。また、5月18日には公募隊に参加して一人で行動していた望月泰彦(47歳)氏が7,700m地点のテントの中で死亡しているのが発見された。

7月には日本人初の8,000m峰14座登頂を目指す竹内洋岳氏がガッシャーブルムⅡ峰で雪崩に遭い負傷。

1968年から途切れる事なく続いている日本人のヒマラヤ遭難事故がまた更新され、40年連続と云う不名誉な記録となった。

(文責：尾形 好雄)

# 2007年日本の海外登山隊一覽

No.	山名	標高	国名	隊名	隊長名	隊員数	成果
1	チヨモランマ	8,848	中国		野口 健	3	5/15、野口隊長、平賀淳(28) 登頂。5/17に谷口ケイも登頂。
2	チヨモランマ	8,848	中国	アドベンチャー・ガイッ隊	大藏 喜福	5	5/15、大藏隊長ら3名登頂。登頂後、石井伸一(63歳)が死亡
3	チヨモランマ	8,848	中国	オザキインター	尾崎 隆	3	5/15、東條利文(59歳)がシエルパ2名と登頂
4	チヨモランマ	8,848	中国	マウンテンゴリラ	安村 淳	4	5/15、坪井泉(38)がシエルパ2名と登頂
5	チヨモランマ	8,848	中国	国際公募隊	望月 泰彦	1	5/18、7700m地点のテントで男性(47歳)が死亡しているのを発見
6	チヨモランマ	8,848	中国	アースデスク	倉岡 裕之	6	5/22、倉岡隊長ら4名登頂。柳沢勝輔(71) 最高齢登頂
7	チヨモランマ	8,848	中国	国際公募隊	大山 光一	1	5/18登頂。58歳
8	チヨ一・オユ一	8,201	中国		栗城 史多	2	5/8に栗城史多(24) が登頂
9	チヨ一・オユ一	8,201	中国	アドベンチャー・ガイッ隊	大藏 喜福	7	10/3、平岡蒼石、天野英男、藤倉歌彌子、土屋比呂子、10/4、大藏隊長、田村聡登頂
10	チヨ一・オユ一	8,201	中国	国際公募隊	牛島 浄	9	10/2、牛島浄(49) がシエルパ1名と登頂
11	シシヤパンマM	8,027	中国	シシヤパンマ・スノーボードExp.	加藤 直之	1	5/24、北壁中央クローロー7,100mまで到達
12	シシヤパンマM	8,027	中国		大神田伊曾美	1	北東稜のC1(6300m)上で断念
13	ナムナニ	7,694	中国	ナムナニ・スノーボードExp.	加藤 直之	2	5/7、7,000m地点まで到達
14	ムスターグ・アタ	7,546	中国	北海学園大学北海岳友会	京極 紘一	3	7/24~8/26、悪天候のため断念
15	ムスターグ・アタ	7,546	中国	高松勤労者山の会	三谷統一郎	4	8/22、三谷(51)、平井竹幸(62)登頂
16	ラクパ・リ	7,100	中国		大矢 統士	2	
17	クビ・カンリ	6,721	中国	クビ・ツァンボ源流域学術登山隊	和田 豊司	7	9/14、千田教司ら7人全員初登頂
18	ヤラ・シヤンボ	6,635	中国	山形県山岳連盟	稲泉 眞彦	9	10/16、吉田岳(38)、高橋美(51)、プスル・シエルパが初登頂
19	根迪如雪山	6,543	中国	鳥取県山岳連盟		5	
20	モンダ・カンリ	6,425	中国	飛騨山岳会	木下喜代男	9	9/17、木下隊長(62)と田中義信(57)が初登頂
21	タンメンチエン	6,373	中国	福島市制百周年記念日中友好登山隊	尾形 一幸	8	8/9~8/25、5850mで断念
22	スークーニヤン	6,250	中国	東京YCC	一村 文隆	2	
23	ディンジュンリ	6,196	中国	関西学院大隊	中島 健郎	3	登頂失敗
24	覇王山	5,551	中国	広島山岳会	名越 實		10月に初登頂
25	ガツシヤープルムII	8,035	パキスタン	アミカル	竹内 洋岳		7/18、c2からc3移動中に雪崩に襲われ1名死亡、1名行方不明、3人負傷
26	ガツシヤープルムII	8,035	パキスタン	チーム右京	宇佐美英一	3	登頂断念
27	キンヤン・チッシュ	7,852	パキスタン	同人バハール隊	飛田 和夫	4	南壁5100mまで
28	マツシヤープルム	7,821	パキスタン	栃木県南地区山岳協議会隊	糸川 章	4	6/8、出発。南東壁ルート、7/20、6750mまで到達。
29	ラカボシ	7,788	パキスタン		細田 一郎	2	7/23~、登頂断念
30	シスパーレ	7,611	パキスタン	東海大学OB隊	平出 和也	2	小松由加とのペアで北東壁。7/12、5650mで断念
31	コーサル・ガンゲ	7,401	パキスタン	アンサンブル	森 初芳	3	アリン・ピーク(6400m)に登頂
32	スパンティーク	7,027	パキスタン	日本勤労者山岳連盟隊	近藤 和美	11	8/19、岡新二(59) 登頂。
33	スパンティーク	7,027	パキスタン	Tac	藤本 登	3	7/9~
34	パムリサル	7,016	パキスタン	バーバリアン・クラブ隊	岩崎 洋	2	6/4~7/23、川原庸照(34)とのペア、5500mで敗退

35	無名峰				福岡山の会	岡崎 猷之	4	8/5, 高嶺渉 (55)、ラヒムが初登頂
36	5911m峰				同人パハール隊	飛田 和夫	6	6/24, 5800m峰に飛田隊長ら4名が初登頂
37	ハイナブラック				チーム'84/G登攀クラブ	今井 孝	2	鈴木啓紀 (26) とのペアでイーストタワーに挑み、頂上稜線に到達
38	マリ				JAC石川支部	西嶋鎌太郎	7	8/14, 15、マーン (6342m) に全員初登頂
39	シャルミリ				JAC東海支部	鈴木 常夫	8	8/5, 足立直行 (64)、杉浦吉治 (65)、松原立雄 (73) 他2名登頂
40	ダウラギリI峰				徳島ダウラギリ主峰登山隊	中村 満芳	5	大雪で登頂断念
41	マナスル				アミカル	R.ドモエツイチ	5	5/19, 竹内洋岳ら隊員8人とシエルパ1人が登頂
42	ブモ・リ					三渡 忠臣	5	C 1 (6100m) で断念
43	ブモ・リ				エグザナ隊	宮澤美緒子	1	6000mで断念
44	ドルジエ・ラクパ				宮城県勤労者山岳連盟		9	4/14, 6900m地点まで到達
45	アマ・ダブラム				G登攀クラブ	新野泰之	2	11/19, 西壁から新野 (40)、吉田隆宏 (30) が登頂
46	アマ・ダブラム					倉岡 裕之	4	11/8, 南西稜から倉岡ら4名が登頂
47	アマ・ダブラム				ノマト	宮下 岳夫	5	10/25, 南西稜から宮下、伊東仁司 (58)、小幡友子 (42) が登頂
48	リク・チュリーI				北海道山岳連盟	江崎 幸一	2	登頂断念
49	チャコ				神奈川県山岳連隊	牧野 龍峰	10	7/24, 大村昭雄 (43)、上坂和久 (35) とシエルパ2人が初登頂
50	メラ・ピーク				東京都勤労者山岳連盟有志	篠原 延和	4	4/10, 2名登頂
51	ランシサ・リ				アドベンチャー・ガイズ	平岡 竜石	7	5/2, 登頂
52	サリブン				Snow&Rock	坂上真知子	1	11/11, BCまでで断念
53	パルシヤモ				北海道山岳連盟	江崎 幸一	5	11/5, 登頂
54	コンデ・リ				北海道勤労者山岳連盟	佐藤 信二	4	07年1/5, 3名登頂
55	シエイ・シカール				花薬里	藤川 勝人	3	8/23, 3名全員登頂
56	イムジャ・ツェ					田辺 治	7	登頂
57	ダンフエ・セイル				大阪山の会	大西 保	7	8/27-10/7,
58	ブンチエン・ヒマール				大阪山の会	大西 保	7	10/7-11/7,
59	パリラプチャ					中川 博之	2	登頂
60	トロン・ピーク				トロン・ピークあんみつ登山隊	片倉 昭江	6	10/25-11/15,
61	ヤラ・ピーク					南 勲	2	登頂